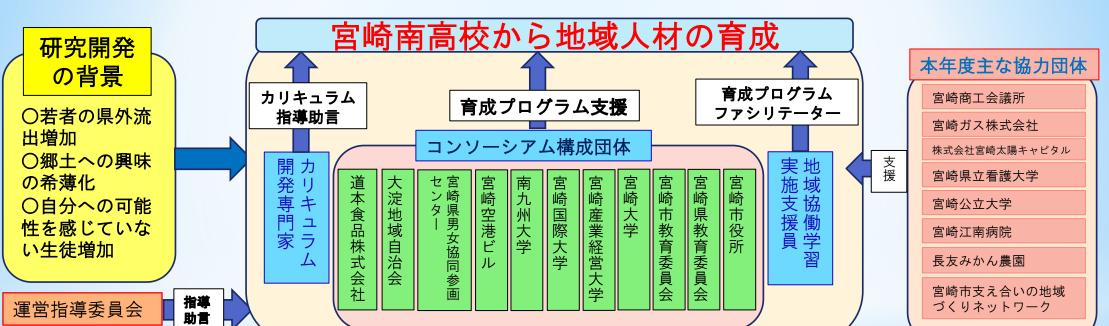
産学官連携による人の地域循環教育プログラムの研究開発



| 令和3年度の 目標 | 主な取組状況 | |
|---|----------------|--------------------------------------|
| 【研究開発 I 】 「地域の現状・ 魅力を知る地域 力」の育成 | 地域学 I | 地域の魅力、現状をSDGsを通して学んだ |
| | 地域学Ⅱ | 宮崎の企業・行政の活躍を本校同窓会を通じて学んだ |
| | 鵬イノヘ・ーションコンテスト | 地域の企業、行政、団体からのいただいたテーマを基に課題解決に取り組んだ |
| | 進路探究 | 各大学の学部の話を聞き、自分が学ぶべき分野を学んだ |
| | 次年度計画 | 今までに学んだことを元に次年度以降の課題研究に向けて計画を立てた |
| 【研究開発 II】 「地域資源の新 しい価値を見出 す力(イノベー ションカ)」の育 成 | 地域課題研究 | 地域課題研究に、コンソーシアムよりアドバイスを受けながら取り組んだ |
| | 計画発表 | 有識者からの意見をもとに、立てた研究計画の軌道修正を行った |
| | 中間発表 | 有識者より意見を求め、内容の軌道修正を行った |
| | 進路探究 | 自らの探究活動と進路との関係について深化させた。 |
| | プレゼン資料作成 | 職員、生徒研修会を実施後プレゼンテーション、ポスター制作等行った |
| 以 | 研究発表会 | ポスターセッションによる研究成果の発表を行った |
| | 成果発信 | 県の実施する課題研究大会等に参加し、成果を発表した |
| 【研究開発皿】 「地域の価値を発信 するための行動力・ 実践力」の育成 | 成果発信 | 本県で実施しているMSECフォーラムに本校より、日本語部門に11班,英語 |
| | | 部門に1班参加した。英語部門においては見事1位を獲得した |
| | 成果発進 | 課題研究で学んだことを自分たちの進路に活かした |
| その他の活動 | 你你回去 子 | 地域魅力化型開発の総務として各教科、各部会に企画を提案し実施に向けて |
| | 探究図書委員会 | コンソーシアムとの協議、連携を図った。 |

地域連携主な成果

| 活動日程 | 内容 |
|------|---|
| 令和3年 | 宮崎市へ壁画の寄贈 宮崎市と連携して実施予定であったイベントが中止となり。その代替 |
| 4月 | として壁画を宮崎市に寄贈し宮崎市長より感謝状を贈呈された。 |
| 令和3年 | 生徒課題研究において、臍帯血の重要性を呼びかけるパンフレットを作成。妊婦の方に渡し |
| 6月 | ていただき、白血病患者の一助となるよう取り組んだ。 |
| ~12月 | 生徒課題研究において、子育て世代へのサポート授業として放課後寺子屋事業を地域の中学 |
| | 校、宮崎市青少年育成協議会と連携して実施した。 |
| | 地元サッカーチーム「テゲバジャーロ宮崎」の観戦者数増加について地域と連携したフリー |
| | マーケットや地元酒造会社との連携を提案。次年度実現に向けて計画中。 |
| | 地元名産の柑橘類「せとか」の6次産業について入浴剤を提案。次年度製造予定。 |
| 令和3年 | 2学年課題研究発表大会において、地域課題に対する探究活動を実施 |
| 12月 | 鵬イノベーションコンテストにおいて、9団体と地域探究活動を実施 |
| 令和4年 | 高校生による地元自慢バトル「ミヤザキサスティナブル・フードアワード」を実施。本校以 |
| 3月 | 外にも飯野高校、小林高校、日南高校、福島高校と連携して実施。 |
| | 1, 2学年フロンティア科による交流会を実施。KPMGコンサルティング株式会社の溝部朋也様 |
| | より探究的思考力を生かすための講義を受ける。 |

来年度課題

○探究活動におけるICT機器の効果的な活用法などの研修を実施、充実

○探究活動が、生徒の進路実現にどの程度の効果的で影響があるかを測る評価法の確立